

サーバス東海北陸支部 会報

2020年1月28日

日本サーバス東海北陸支部長

NS

内容

1. サーバス会費2020年度のお支払いのお願い
2. 1月18日、新年支部会の報告
3. 2021年度本部と支部の役員の件
4. 本部より
5. IMさんのイギリス便り

サーバス東海北陸支部の皆様

新年があけて、もうひと月が過ぎようとしています。この冬は暖冬で、昨年はずの畑では安納いもが豊作だったのですが、いつもの冬は保存していても寒さのため、腐ってしまうのですが、ことしはまだ安泰です。白菜もずいぶん大きくなり、産直市に持って行っても、激安なので、家でまだ消費しきれず、毎日白菜料理です。しかし暖冬にもかかわらず、コロナウィルスが全世界的に広がっています。皆様もインフルエンザや風邪などにかからないようにお気を付けください。

1. 年会費のお願い

2020年度のサーバス会費3000円をまだの方はゆうちょ口座に振り込みをお願いいたします。現在、あと10人くらいの方が未納です。1月末に確認いたしまして、まだ振り込まれていなければ、会員の継続の可否のお尋ね、継続の場合は2月末までの会費納入をお願いする、メールやお電話を差し上げます。ご協力よろしくお願いします。

口座番号は、[会員専用ページの支部会報](#)をご覧ください。

2. 1月サーバス東海北陸支部会の報告

1月18日(土) 昼1時から、小牧市学び創造館(ラピオ)で行われました。0会員の赤ちゃんを含めて、13名が出席しました。出席：Mさん、Kさん、Kさん、Tさん、Oさん、Oさん親子、Tさん、Iさん、Aさん、Tさん、Dさん、N

今回は各自持ち寄りのランチを食べながらの自己紹介。これも会議に集中できやすく、いい方法でした。自己紹介はそれぞれ初対面の人も多かったのですが、会員さんの個性が出て、各自の旅行体験や受け入れ体験をはじめ、家族の内情やこれまでやってきたことやこれからやりたいことなど、

盛りだくさんの話題で話が弾みました。



話が弾み、予定の美術館や歴史館めぐりは全員でできず、それぞれに分かれて、楽しみました。「ヤオカネ」というパーラーも果物屋さんのコーナーでやっているの新鮮な果物を使った、パフェやクレープやジュースなどおいしいものをいただきました。

なお次の支部会はいつもの時期より早いのですが、3月29日(日)三重県津市のレストラン「まきの木」ランチ2000円(税別)を12:00に予約しました。近鉄名古屋線伊勢中川駅から車で5分のところです。会の後は津市の桜の名所を車で案内したいと思っています。FacebookのServas Internationalにも呼び掛けたところ、すでに韓国のPさんが家族とともに参加したいとの意向を表明してくれました。遠方からの参加はサーバスの三重のメンバーが宿泊を用意できればと思っています。

3. 2021年度本部と支部の役員の内

本部—会長：N、副会長：K、会計：Mさん

支部—支部長：Tさん、副支部長：Kさん、会計：Oさん、会計監査：Tさん

ということで皆さんの了承を得ました。

4. 本部より

- ① 元サーバス会員、兵庫県明石市にお住いのT.Kさんから日本サーバスに寄付金をいただきました。寄付額は贈与税非課税限度額ぎりぎりの110万円です。サーバス本部会計に寄付として受け取りました。寄付金の使途について次の国内会議で決めたいと思いますので、各支部で寄付の有効な使い方について考えて下さい。—ということで会員のMさんから、いつか来るかもしれない日本での国際会議に備えてプールしておいてはというご意見に一同賛成いたしました。
- ② 次に2021年度からは電子スタンプに移行しないといけません。ITの役員でいろいろ考え、支部長さんと手を携えて、会員の皆様が理解し、作業が無理なく進んで、電子スタンプの体制にスムーズに移行出来るように方策を練って貰っています。皆様のご協力をお願いします。
- ③ 国際サーバスもデジタル化——電子LOIが始まります

国際サーバスのWeb上のオンラインシステムであるSOL (Servas Online) に日本が参加してから2年半になろうとしています。会員の皆様は活用しておられるでしょうか？サーバス旅行の際のホスト探しが随分楽になったと実感されている方も多いと思います。SOLにはサーバス旅行の時にホストに提示するLOI (Letter of Introduction) を作成する機能もあります。これを利用すると、従来のようにLOI用紙に記入し顔写真を貼って支部長に送り、紙スタンプを貼って送り返して貰う手続きに比べ、労力も時間も大変少なくなります。

ただこの機能を使うには、会員がスマホやパソコンを使ってネットで買い物や予約をする程度のスキルが必要なことから、日本サーバスでは今までは利用していませんでした。しかし昨年末に国際サーバスから、日本サーバスも紙スタンプでなく電子スタンプにするように、すなわち会員がLOIをSOLで作成し、管理者が電子スタンプを付与した電子LOIを発行するようとの指示があり、今年を準備期間として2021年初めから移行することになりました。

LOIの申請時の承認者とのやりとりが最小限のWeb入力とメールだけで済み、スキャナー読み込みや郵送など紙を扱う手間がないため、申請者、承認者とも労力と時間の節約ができることとなります。スマホやパソコンを普段使って写真やpdfファイルを扱っている方には簡単なことですが、使い慣れていない方には困難と思われるかも知れません。このため、そのような方々が電子LOIを作成するのを援助する体制を、現在、支部本部間で相談して準備しようとしています。今後サーバス旅行を予定されている会員の方は、支部役員に連絡してどのような援助が必要かをぜひご相談してみてください。安心して旅行の準備ができるようお手伝い致します。

5. I.Mさんのイギリス旅行記

Learning, Traveling & Staying in Scotland and England.

UK 2か月の旅 2回目

コッツウォルズの丘の端、ストラウドからプチ留学の為に、歴史と趣のある町ウスターに。スクールでは伊勢、伊勢神宮を含め、日本の文化を紹介する英語を学ぶ。50年ぶりの丸一日のレッスンに、芯から疲れ果てたけれどエクスカージョンにはせっせと参加。土日は一人で周辺の町を歩いた。

その後、小さな飛行機でスコットランド、インバーネスに移動。ここを拠点として、オークニー諸島等、縄文の遺跡を残す島々を巡った。ウスターでは、私の旅を「冒険の旅」と名付けてくれた。知らなかった、大波の中、風の吹き荒れる寒い地に行くことを。

最後は、サーバスを訪ねる為に、列車で8時間かけロンドンへ。この頃、ようやく、自分が行きたいと思った所々が、ほぼ線で繋がった。ひとつひとつ解決し、自分の思いを形にしていく作業は、ジグソーパズルのよう。

サーバスの旅は、ブライトンのL.Jさん宅にそれぞれ一泊、ロンドンのAさん宅に三泊。様々な話をした。そして、持参した「二度と」という紙芝居を演じた。「日本人として、No more Hiroshima, Nagasaki & Fukushima を世界の人達に伝えたい」と昨年宣言したから。



まずは昨年サセックスでお世話になり、今回ブライトンまで会いに来てくれたL夫妻にレストランで。

今回の旅は、スコットランドの最北端から、イングランド南の小さな美しい町ライ、骨董の町ルイスにも足を伸ばすことができた。サーバスのみんなが、私がどうしたいかを問い、最善の努力をしてくれたから。観光地を巡るだけではわからない、生活と社会に対する姿勢も見ることができた。

ホームステイ先が決まらず、リンジーに SOS を出した時” They will help you because they are servas “とメールで励ましてくれた。結局、沢山のメンバーが応えてくれた。ロンドンの Day Host の Aさんと、今年も行動を共に。

今度は私の番、今年は感謝の気持ちを込めて、伊勢の地で世界の旅人を迎えよう。

発行者 東海北陸支部長 N.S
5152623 三重県津市白山町上ノ村48-16
070-1627-1217